

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19286-1	外国人児童生徒教育支援事業	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財 会計	一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務 款	教育費
	施策の方向	06:すべての子どもの学びを支える教育の推進	科 項	教育研究費
戦略プロジェクト		目 目	教育研究費	

② 目的・概要	対象	亀山市内各校の日本語指導の支援を必要とする外国人児童生徒
	目的	・教室で学習を進める上で言語、学習内容が十分理解ができず、学校生活そのものに困難をきたす現状を変えるため、支援員を配置して、指導や助言を行うとともに、保護者への支援や相談体制も整える。
概要		・市内に在籍する日本語指導の支援を必要とする外国人児童生徒を対象に、授業のサポートや別室指導の支援、通信や学習用プリントの翻訳等を行う。 ・日本語がわかりにくい、外国につながる児童生徒の保護者に対して、保護者懇談等の通訳にあたる。

		27年度	28年度
①	名称	市内各校の児童生徒の支援	計画値
	補足	日本語支援の必要な児童生徒の在籍する市内各校巡回訪問する。実績値は巡回回数	実績値 5 校
②	名称	外国につながる児童・生徒のための進路説明会「学校へ行こう」へ参加	計画値
	補足	説明会「学校へ行こう」にスタッフとして参加し、児童生徒・保護者等の通訳にあたる。実績値は「学校へ行こう」参加人数	実績値 71 人
③	名称		計画値
	補足		実績値
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					・外国人児童生徒教育支援員相談員5人を市内5校へ配置した。ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語を母国語とする児童生徒の支援にあたった。 ・外国につながる児童・生徒のための進路説明会「学校へ行こう」へ参加し、児童生徒・保護者等の通訳にあたった。			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	379	
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	379	平均給与額×③	
	県支出金		1,394	1,394	所要人員 ③	0.05		
	地方債				臨時職員人件費 ④			
	その他				受益者負担額 ⑤			
	一般財源		1,430	1,418	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	379			
	総コスト		⑥	3,191				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	・放課後補充学習なども含めた教科学習への支援により進路指導の充実が図れるようになった。 ・亀山国際交流の会との連携により、子どもたちの学習支援が地域においても進んだ。 ・外国人児童生徒教育支援員による通訳、翻訳等の業務は、必要不可欠になってきており、保護者との関係構築などにおいても重要な役割を担っている。	A 順調に進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】
	・複雑な家庭背景の児童生徒も多く、保護者支援や進路指導等で、教職員と通訳・相談員との連携や意思疎通を充実させる必要がある。 ・母語が多様化しており、人員の確保、配置校への勤務日数の増加が課題となってきている。

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】
	・通訳・外国人児童生徒支援員研修会や外国人児童生徒担当者会議の充実を図る。 ・必要な言語に対応できる人材の確保を図る。 ・各校で、翻訳したデータを共有できるフォルダの利用やデータの整理等を進め、効率の良い翻訳ができる体制を図る。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘
--------------	---------	----------------------